

平成21年 2月 第275号  
大代地区コミュニティ推進協議会  
〈編集部〉  
事務局：大代地区公民館  
☎364-8442

# ふれあい

## 〈掲載目次〉

- 津波災害防止対策について・・・1
- 大代の歩み・・・・・・・・・・3
- 新年を祝う会を終えて・・・・2
- どんと祭について  
御礼とお願い・・・4
- 物置を整理して（その五）・・・3
- ふれあい俳句・・・・・・・・・・4
- 火災状況に思う・・・・・・・・・・3
- コミュニティニュース・・・5

### 津波災害防止対策について

大代西町内会長 伊藤 要

菊地市長との「おぼんです懇談会」に次のような質問を文書にて行いました。

広報多賀城最近号に「災害に強いまちづくりを目指して」と題し、地震・津波災害に備えての「多賀城市地域防災計画修正」概要の広報がありました。これは、近い将来発生が確実視されている宮城県沖地震、特に「日本海溝・千島海溝周辺で発生する海溝型地震」に伴う津波に対しての防災対策が記されております。

これまでは、地震による家屋の倒壊、土砂崩れ、道路・水道等のインフラに対する被害が多く語られておりましたが、津波災害については、地震発生と同時に高台に避難することと指導されておりました。

今回の修正で津波訓練を実施する項目が新たに加われました。それと同時に津波被害が想定される津波浸水地域、避難対象地域も設定されました。その地域には、大代一丁目・大代六丁目が記されております。

ご存知の通り、この地域は〇m地域と言っても過言ではありません。又この地域は津波到達前に最寄りの避難所に避難することが困難地域にも設定されております。

津波の被害が甚大と予想される大代一丁目・大代六丁目地区に対しての津波の高さによる（津波の高さが二メートルの場合、

三m、四mの場合とに区分して）浸水地域を図面にして公表し、早急に津波災害防止対策を講ずるべきと考えます。

自分達が住む地域でどんな影響（被害想定）が出るのか事前に把握しておくことが防災の第一歩であります。

当大代一丁目・大代六丁目地区は太平洋に近く、仙台新港の建設により従来の地形と大きく変化したので津波の来襲により津波被害が甚大と予想されるので、津波に対する減災をすべく人工的防災対策（津波防潮堤等の築造）を考えなければならぬと思います。多賀城市の基本計画があれば、早急に示して市民の安全・安心なまちづくりをお願いするものです。

質問に対し菊地市長から次のような回答を頂きました。

今回の地域防災計画の修正では、県の第三次地震被害想定調査による津波予測結果などを受けて、津波からの防護や円滑な避難に関する事項などを盛り込み、津波被害に備えた防災対策の充実、強化を図っております。

津波に関しては、震源が本市に最も近い地震は宮城県沖地震であり、第三次地震被害想定調査による本市の津波想定は、次のページの表のとおりとなっております。

## 多賀城市の津波の想定

想定地震	宮城県沖地震 (単独) ※1	宮城県沖地震 (連動) ※2	昭和三陸地震 ※3
津波(20cm)の到達時間	53.9分	54.6分	75.8分
津波の最高水位	1.5m	2.5m	2.5m
最高水位の到達時間	62.9分	198.2分	93.6分
予想浸水面積	0.0km <sup>2</sup>	0.0km <sup>2</sup>	0.0km <sup>2</sup>

- ※ 1. 1978年の宮城県沖地震の再来を想定した場合  
 2. 宮城県沖の最大級の地震として想定した場合  
 3. 1933年の昭和三陸地震の再来を想定した場合

本市の予測結果として、津波の最高水位は二・五m、最高水位の到達時間は地震発生時から一時間から三時間程度、二十cmの津波が到達するまでの時間はいずれの時間も約一時間程度と予測されており、今回の修正では、こうした予測結果などを踏まえ、大代一丁目及び大代六丁目を避難対象地域

として並びに大代一丁目を避難困難区域として設定したものです。なお、今回の予測結果では津波の水位は最高で二・五mです。ので、ご提言のあった三m及び四mの高さの津波は想定されておりません。

なお、大代一丁目を避難困難区域に設定した理由は、指定収容避難所までの距離的な問題からではなく、避難の際に橋りょうや大通りを横断しなければならぬという危険要因があることから設定しているものです。

いずれにしましても、津波到達までに時間の猶予が比較的にはあるものの、津波災害を防ぐためには、津波被害が予想される地域では強い地震を感じたとき又は弱い地震であっても比較的長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海岸等から離れ、急いで高台などの安全な場所に避難することが原則とされています(中略)

なお、津波対策としての施設整備については、今後、市では避難場所の案内板や避難誘導標識の整備を進めていく考えですが、防潮堤や防潮水門などの河川構築物の整備については、河川管理者である宮城県が所管であるため、早急に整備が図られるよう要請してまいりたいと思います。

### 新年を祝う会を終えて

大代地区コミュニティ推進協議会

コミュニティ推進部長 小野 菊郎

新年を祝う会はご存知の通り平成元年から大代地区の方々が一堂に会し新年を祝

い、親睦を図ると共に絆を強め連帯感向上に寄与すべく実施して参りました。

今年は、皆様多くの方々にご参加(東区二十名、西区二十七名、南区三十九名、北区十七名、中区三十一名、来賓・事業者・事務局十七名、合計百五十一名)を頂き盛大に開催することが出来ました。

昨年末の参加者募集に当たられた班長さん、取り纏めいただきました区長さん、各種団体の代表の方、温かい豚汁・玉子酒を作るため前日から食材調達・下ごしらえに当たっていただいた婦人会の方々、コミュニティ推進協議会役員の方々には一方ならぬご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

又、多くの方々から、ご祝儀・お酒等を頂き重ねて御礼申し上げます。なお、当日ご紹介すべき所失念しまして大変申し訳ございませんでした。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

会の進行は、副部長本郷敏郎の司会により、熱海五郎会長挨拶、来賓を代表されて寺沢正志県議会議員、佐藤恵子市議会議員のご祝辞、乾杯の音頭を前会長佐藤甚六さん、西区長伊藤要さんの万歳三唱、副会長渡辺正平により閉会挨拶で終了いたしました。懇親会においては、暁流・第一百寿会・第二百寿会・サークルゆり・カラオケと総数六十名による踊り、ダンス、歌と舞台を所狭しとご披露頂き、予定時間を三十分超過する盛況でした。会場が体育室である事から、室温、音響等皆様に充分ご満足頂

く環境ではありませんが、次回は参加者の活発な意見交換、温かい食べ物、熱気溢れる舞台演技等企画を充実してお答えしたいと存じます。ご不満の点は、この事情をご理解され今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

多賀城市内において、大代地区公民館を拠点にコミュニティー推進協議会の活動あるいは各種サークル活動等が高く評価されておりです。地域文化として内容の充実を図り益々発展されるよう祈念いたします。

### 物置を整理して（その五）

大代中 本郷 敏郎

「ふれあい」十二月号に投稿しました「宮城県地誌提要」について、私が保持している本の最初の部分が、欠落していることが分かりました。そこでこの部分に何が記してあるのか、調べてみたいと思い、宮城県図書館に出向き調べてきました。その結果次のことが分かりました。

一、この編は管内（県内）の地理の概略を詩し以て小学生徒の講読に使うもので、務めて繁（細かいところ）を省き、簡に就き要を取りて細に及ぼす。（簡単ではあるが、重要な所は細かく記してある）

一、この本は、日本地誌提要、略、要略、管内郡村誌観などを基に、巡回して調査したものである。）

一、戸数、人口は凡て百以下の数を省き、物産はその土地の有名な物を記すのみ。  
一、山岳、河、沼、港湾、島、瀑布（滝）、

温泉及び神社仏閣、名所古跡の如きも又其の概要を記するにとどめる。

一、地名は方言によりて別に管内地名字書を編成し以て読者に伝える。

一、（その後、略）

簡単に略しましたが、以上のような、文面が記してありました。又、私が保有している本は「明治十七年十一月」に発行された本ですが、「宮城県図書館」に保管されている本は「明治十五年」に発行された「初本」でした。又、「明治十七年」の本にある「宮城県管内全図」は初本には無く、今回、宮城県図書館にコピーして置いてまいりました。次回は時代をもっとさかのぼり、明治の初めの本について投稿したいと思えます。

### 火災状況に思う

大代地区婦人防火クラブ

会長 後藤 重子

新年あけましておめでとうございます。

住宅火災警報機は皆様のもとで安心を提供し、ある時はうっかりの手助けをしたりと機能していますか。皆様の意識向上の中で多賀城市の平成二十年現度の火災状況は被害件数七件、被害額八十万円と過去最低の記録です。又、一般住宅全焼火災ゼロの記録も丸四年継続中です。これも各家庭における意識の向上の賜ものではないかと思えます。

これから火災の発生しやすい時期かと思われれます。皆様方もさらなる注意をお願いします。我々婦人防火クラブ役員も微力ながら手助けが出来ればと思っております。お近くの役員

に気軽に声がけ下さい。

### 大代の歩み（十一）

大代南 渡邊 巖

（二）だが、大代へ帰る人と岡田へ行く人とはどうにもならないので、岡田に行く人達が代わる替わる背負って行くことになったが、権右衛門以外の人ではとても重くて動けない。相談の結果、此の石仏はどうやら岡田に行くのを嫌っているらしいから、大代の人へあげる事にしようと言が纏まり、権右衛門は石仏を背負って来たが、大代と笠神の境の小沢にある小山に石仏を下ろして其処で祀ることにした。

ところが大代で病気が流行した。渡辺家ではこの石仏が気掛かりなので石仏を拜んでみると果たして石仏が現れて申すには『私は渡辺氏に背負われて大代に来る途中のこんな所に下ろされては立つ瀬がない。どうか大代に祀ってくれ。そして別当も末永く渡辺氏になって貰いたい。すれば病気の流行も消えるだろう』と。渡辺家では大いに恐縮して、大代の塩釜街道の入り口にお遷しして盛大なお祭りをしそれから代々渡辺家で別当を務めている。

### 念仏橋

現在の橋からは想像も付かぬ程粗末な土橋で、柏木から中谷地に行く途中の舟場川（砂押川）に架かっていたが、洪水や津波でたびたび落ち、終いにはそのまま通行が不自由になったことを憂えた大代のおばあ様達が、奉行所に願ひ出て許しを受け、

享保年間（一七一六〜一七三五）十数カ年の念仏修行を続けながら、講を作つて浄財となる資金を積み上げ、ついに橋を架けた。それに因んでこの橋を念仏橋と称えてきたという。

他の説には、付近の菊ヶ岡にあつた某氏の屋敷に仕えていた下女のお菊が罪を犯して生き埋めにされ、その祟りを恐れた通行人が橋を渡るときに念仏を称えてお菊を弔つたのでこの名があると。 続く

### どんと祭について御礼とお願ひ

柏木神社総代 小野 菊郎

恒例のどんと祭には、皆様のご協力で事故もなく終わらせて頂きました。厚く御礼申し上げます。柏木神社祭事は、春・秋の例大祭、松焚祭（どんと祭）等があります。これらの事を、二十四名の総代が協力して運営に当たつておりますが、他に、祭典及び神社維持費寄付、天照皇大神宮・御歳徳神・七福神等の頒布を併せ行つております。今後も、地区皆様の格段のご協力を頂きますようお願い申し上げます。なお、どんと祭に関しまして、以下の事についてご理解賜ります様切にお願い申し上げます。 ※正月飾りは午後六時三十分までにお納めください

一、正月飾りの焼却は安全にしなければなりません。そのために消防団待機（消防ポンプ車）をお願いして非常時に備えております。したがって、その日の気象状況、焼却時間等を考慮して焼却を行つています

が、焼却出来なかつた分は、総代の方が十五日朝七時〜九時に焼却し、前日の焼却灰と一緒に安全を期して処理いたしてあります。すべて総代の方の奉仕に頼つております現状をご理解下さい。

※当日焼却にご協力を

二、午後七時以降翌朝まで相当数納められております現状を、皆様のご協力で改善していきたいと存じます。当日焼却出来ませう午後六時三十分までにお納め下さいませ様お願い申し上げます。

※総代・消防団が安全に焼却できるようご協力を

三、総代の方等処理に当たる方々には限度があり、地域皆様のご理解とご協力が無ければ安全に運営が出来ません。重ねてご協力をお願い申し上げます。

※燃えない物ははずしてご自分で処理してください

四、以下のものは取り除いてお納め下さい。該当する指定ごみ出し方法に従いごみ集積所へ出して下さい。

・みかん類・餅類は燃えません。燃やす温度になりません。

・ビニール・プラスチック等化学製品は有害物で露天での焼却は出来ません。

・燃えない物（鉄製品・鋳物製品等金属で出来ているもの）も取り除きご自分で処理してください。

・雑誌等は市のごみ指定曜日に集積所へ出して下さい。

※今年は、みかん類を取り外してお納めいただきありがとうございます。来年もご協力お願い申し上げます。なお、ビニール・プラスチック類は、取り外しに格段のご留意をお願い申し上げます。

※参道に灯籠を、初詣・どんと祭に設置しましたが、皆様のご意見をお聞かせ頂ければ幸甚に存じます（各区长へ）

### ふれあい俳句

大代西 松浦 富男

変の字の大手をふつて年明けぬ  
煩惱を断たざるままに除夜の鐘

平凡といふ幸や寝正月

腕萎えに南瓜手強き冬至かな

由緒あるてふも廃寺や寒に入る

笠神西 本郷 勝子

天空に聳え立つ山山眠る

山頂に強烈な風鳥渡る

囀るや眠る山々凍てかえる

頂上や大パノラマの冬の海

雲走る大靄来て山下の

※一月二日宮城県百名山なる石巻市雄勝

町硯上山五百十一メートル登山

笠神西 吉野 珠子

気高さやぼとりと落ちて寒椿

寒白の鋭きすまされし山の上

身震し明かりを灯し卵子酒

元旦の茜に染めて夜が明ける

一日の気品のある鶴賀客かな